

令和2(2020)年度
かわさき市民アンケート
報 告 書

川 崎 市

目次

I	調査概要	1
II	調査回答者の属性	5
1	第1回アンケートの回答者	7
2	第2回アンケートの回答者	10
III	調査結果	13
1	第1回アンケートの調査結果	15
1.1	新型コロナウイルス感染症について	17
(1)	新型コロナウイルスの緊急事態宣言下及び解除後における生活行動について	17
(2)	新型コロナウイルス感染症に感染することに対する恐怖心	25
(3)	新型コロナウイルス感染症に感染すること以外に感じている不安	29
(4)	新型コロナウイルス感染症発生後のオンライン通信を利用した行動	33
(5)	新型コロナウイルス感染症についての情報源	36
①	利用したことがあるもの	36
②	最もよく利用したもの	39
③	最も信頼していたもの	41
(6)	倦怠（けんたい）感が現れたり、発熱した場合にとる行動	43
1.2	川崎市市民オンブズマン制度及び人権オンブズパーソン制度について	46
(1)	制度の認知状況	46
(2)	制度の認知媒体	49
①	市民オンブズマン制度	49
②	人権オンブズパーソン制度	52
(3)	市民オンブズマン制度について知っていること	55
(4)	市政や市の職員に対して苦情を言いたくなった経験の有無	57
(5)	市政や市の職員に対して苦情を言いたくなった時の行動	60
(6)	人権に関するトラブルに遭った経験	64
(7)	「人権オンブズパーソン」への相談方法について	68

1.3	川崎市の緑について	71
(1)	平成20(2008)年から現在までの川崎市の緑の変化	71
(2)	これからの川崎市の緑について	74
(3)	現在おこなっている川崎市の緑に関する活動	76
(4)	今後取り組んでみたい川崎市の緑に関する活動	78
(5)	公園緑地の利用目的	80
(6)	公園緑地の利用経験	83
(7)	公園緑地に求めるもの(充実してほしいもの)	86
2	第2回アンケートの調査結果	91
2.1	定住状況について	93
(1)	居住年数	93
(2)	定住意向	95
(3)	転居意向の理由	97
(4)	転居先の希望	98
2.2	生活環境の評価について	100
(1)	生活環境の満足度	100
(2)	総合的な生活環境の満足度	110
2.3	関心ごとと行動範囲について	113
(1)	関心を持っていること	113
(2)	行動範囲	116
2.4	市政に対する評価と要望について	121
(1)	市政の仕事でよくやっていると思うこと	121
(2)	市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと	126
(3)	施策や事業の総合的な満足度	131
2.5	地球温暖化対策について	133
(1)	地球温暖化の進行に対する危機感	133
(2)	地球温暖化対策を意識している程度	135
(3)	地球温暖化による気候変動の影響についての実感	140
(4)	行っている「緩和策」	142
(5)	気候変動の影響に対する「適応策」の認知状況	146

(6) 行っている「適応策」	148
(7) 川崎市が取り組む地球温暖化対策についての考え	152
(8) 川崎市に取り組んでほしい地球温暖化対策	155
2.6 かわさきの農業について	157
(1) 都市農業に対する関心度	157
(2) かわさきの農業についての認知	159
(3) 市内産農産物の購入経験	162
(4) よく購入する市内産農産物	165
(5) 「農に関わる取組」の実施状況・実施意向	166
(6) 川崎市の農業施策の進め方についての考え	168
(7) 川崎市の「農業」に対する取組の重要度	171
2.7 新型コロナウイルス感染症について	173
(1) 新型コロナウイルスの緊急事態宣言下及び解除後における生活行動について	173
(2) 新型コロナウイルス感染症に感染することに対する恐怖心	182
(3) 新型コロナウイルス感染症に感染すること以外に感じている不安	187
IV 調査票	193

I 調查概要

1 調査目的

「かわさき市民アンケート」は、昭和 50(1975)年度から毎年 1 回 1,500 人を対象として行っていた「市民意識実態調査」を、より多くのテーマ、より多くの対象に調査するため、調査回数を年 2 回、各回 3,000 人の市民を対象にした調査に拡充し、名称を変更して平成 18(2006)年度から実施することとしたものである。

昭和 50(1975)年度から継続的に行ってきた市民の定住状況、生活環境の評価、市政に対する評価と要望等に加えて、市民に関するいくつかのテーマについて、市民の生活意識や行政に対する意識を調査し、市政運営や政策立案の参考資料とすることを目的として実施した。

2 調査方法

- | | |
|------------|---|
| (1) 調査の地域 | 川崎市全域 |
| (2) 調査の対象者 | 川崎市在住の満 18 歳以上の個人 |
| (3) 標本の抽出 | 第 1 回 インターネットモニター登録者から事前調査により抽出
第 2 回 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出 |
| (4) 標本数 | 第 1 回 1,500 標本回収まで実施
第 2 回 3,000 標本(令和 2(2020)年 10 月抽出) |
| (5) 調査方法 | 第 1 回 インターネット調査
第 2 回 郵送調査(郵送配布一郵送回収・はがき督促を 1 回) |
| (6) 調査期間 | 第 1 回 令和 2(2020)年 9 月 4 日(金)～9 月 14 日(月)
第 2 回 令和 2(2020)年 11 月 18 日(水)～12 月 25 日(金) |
| (7) 調査委託機関 | 株式会社総合企画 |

3 調査項目

◎第 1 回

<調査テーマ>	<問番号>
(1) 新型コロナウイルス感染症について	(Q1～Q6)
(2) 川崎市市民オンブズマン制度及び人権オンブズパーソン制度について	(Q7～Q13)
(3) 川崎市の緑について	(Q14～Q21)

◎第 2 回

<調査テーマ>	<問番号>
(1) 定住状況について	(問 1～問 4)
(2) 生活環境の評価について	(問 5～問 6)
(3) 関心ごとと行動範囲について	(問 7～問 8)
(4) 市政に対する評価と要望について	(問 9～問 10)
(5) 地球温暖化対策について	(問 11～問 18)
(6) かわさきの農業について	(問 19～問 24)
(7) 新型コロナウイルス感染症について	(問 25～問 27)

4 回収状況

	第1回	第2回
(1) 標本数	1,500 標本回収まで	3,000 標本
(2) 有効回収数	1,500	1,653
(3) 有効回収率		55.1%

5 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、図表中の数値の合計が100.0%にならない場合や、複数の項目の数値の合計が本文中の数値と一致しない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数(n)は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- (5) 回答者数が30未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

6 標本誤差 ※標本誤差は、無作為抽出を実施した第2回調査にのみ適用される。

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数(n)、②回答の比率(p)によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母集団数(川崎市の18歳以上人口)
n=比率算出の基数(回答者数)
p=回答の比率(%)

今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

回答比率(p) 基数(n)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
2,000	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
1,653	±2.09%	±2.78%	±3.19%	±3.41%	±3.48%
1,000	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
500	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%
200	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%
100	±8.49%	±11.31%	±12.96%	±13.86%	±14.14%
30	±15.49%	±20.66%	±23.66%	±25.30%	±25.82%

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

注/この表の見方

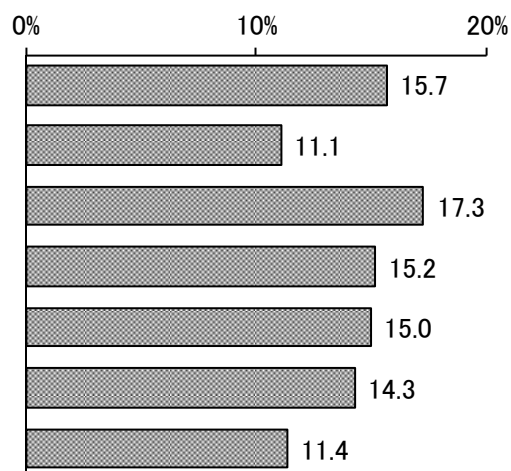
標本誤差とは、今回(第2回調査)のように全体(母集団)の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が2,000人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.10%以内(56.90~63.10%)である」とみることができる。

II 調査回答者の属性

1 第1回アンケートの回答者

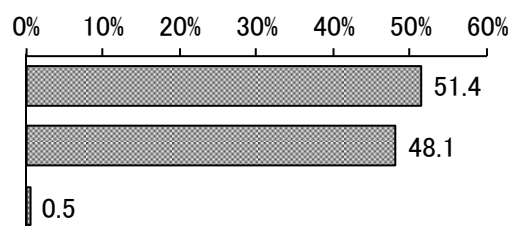
1.1 居住区

	基数(人)	構成比(%)
1 川崎区	236	15.7
2 幸区	167	11.1
3 中原区	259	17.3
4 高津区	228	15.2
5 宮前区	225	15.0
6 多摩区	214	14.3
7 麻生区	171	11.4
全 体	1,500	100.0



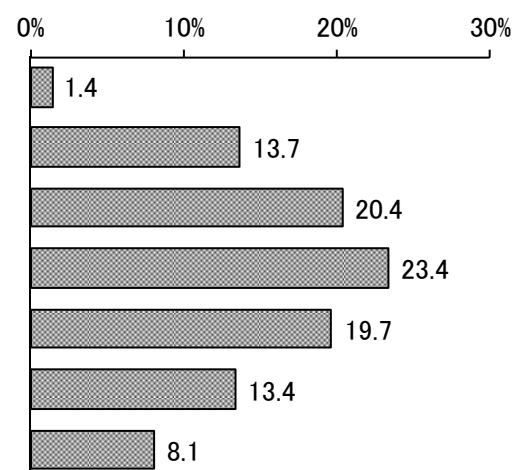
1.2 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	771	51.4
2 女性	722	48.1
3 選べない・答えたくない	7	0.5
全 体	1,500	100.0

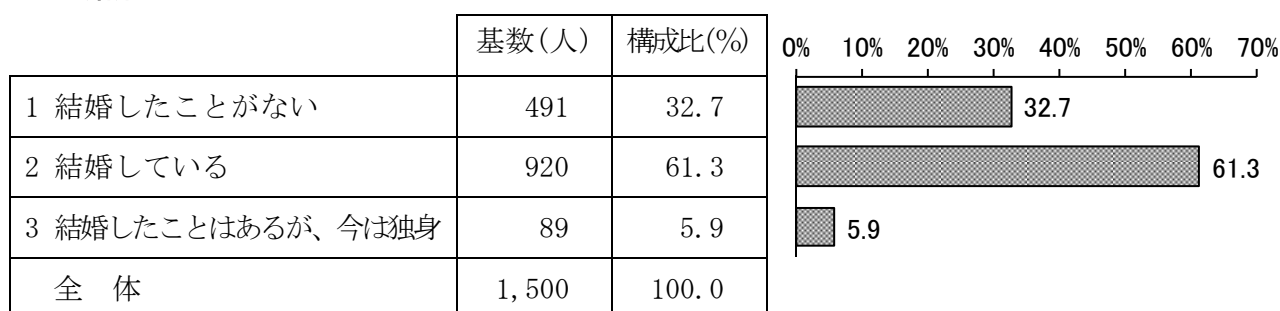


1.3 年齢

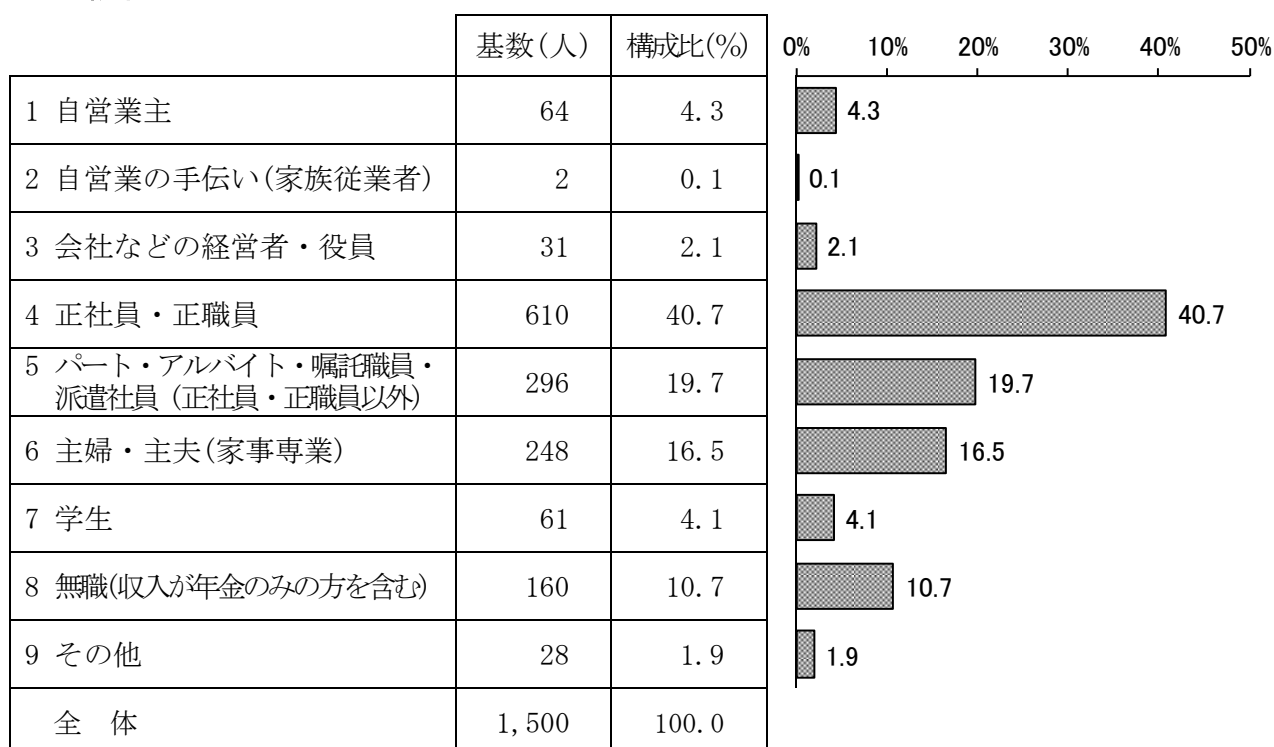
	基数(人)	構成比(%)
1 18～19 歳	21	1.4
2 20～29 歳	205	13.7
3 30～39 歳	306	20.4
4 40～49 歳	351	23.4
5 50～59 歳	295	19.7
6 60～69 歳	201	13.4
7 70～79 歳	121	8.1
全 体	1,500	100.0



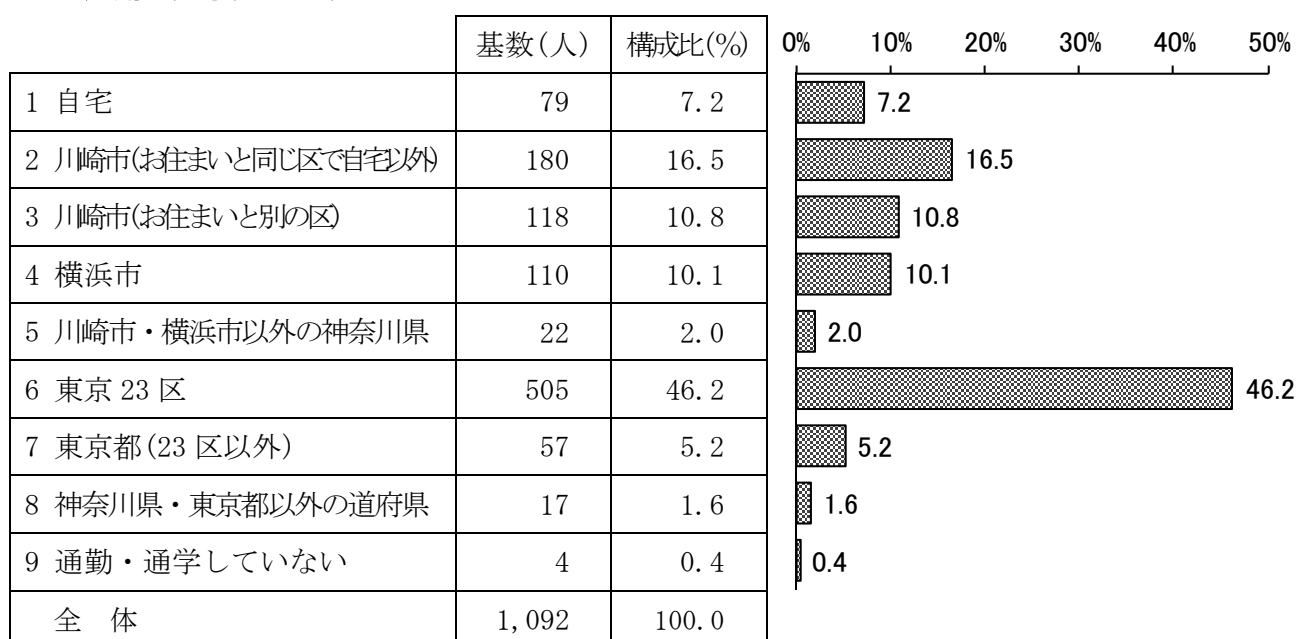
1.4 婚姻



1.5 職業

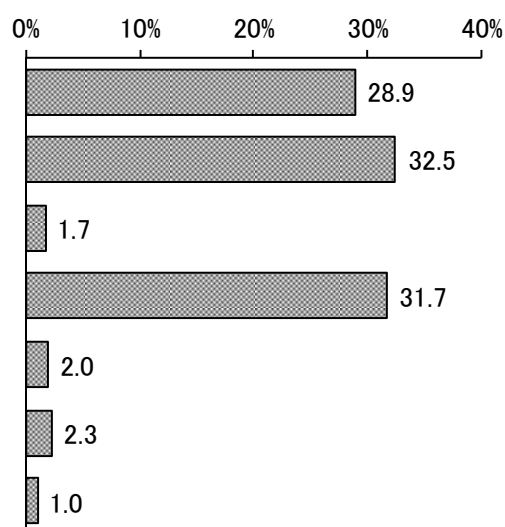


1.6 通勤・通学先の地域



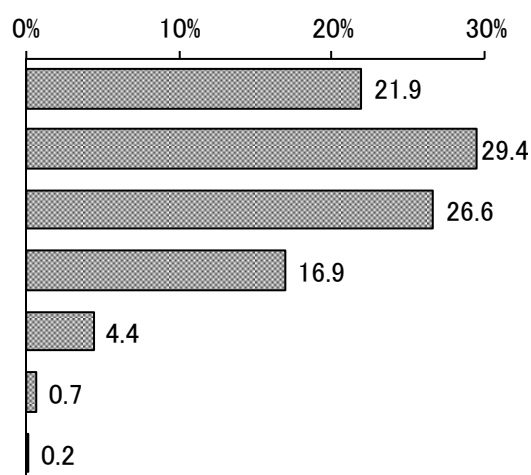
1.7 住居形態

	基数(人)	構成比(%)
1 持ち家(一戸建)	434	28.9
2 持ち家(マンションなどの集合住宅)	487	32.5
3 賃貸住宅(一戸建)	25	1.7
4 賃貸住宅(マンション・アパートなどの一般的な民間の集合住宅)	475	31.7
5 市営住宅や県営住宅などの公営住宅	30	2.0
6 社宅・寮・公務員住宅	34	2.3
7 その他	15	1.0
全 体	1,500	100.0



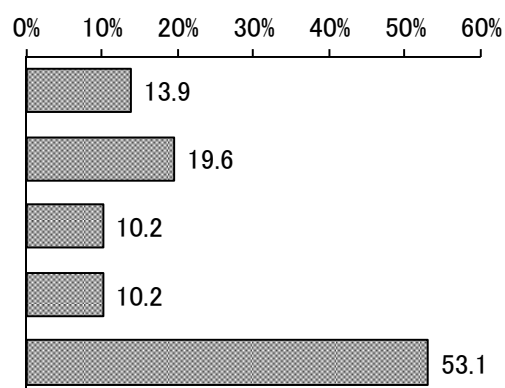
1.8 同居人数

	基数(人)	構成比(%)
1 1人	328	21.9
2 2人	441	29.4
3 3人	399	26.6
4 4人	253	16.9
5 5人	66	4.4
6 6人	10	0.7
7 7人以上	3	0.2
全 体	1,500	100.0



1.9 同居状況(複数回答)

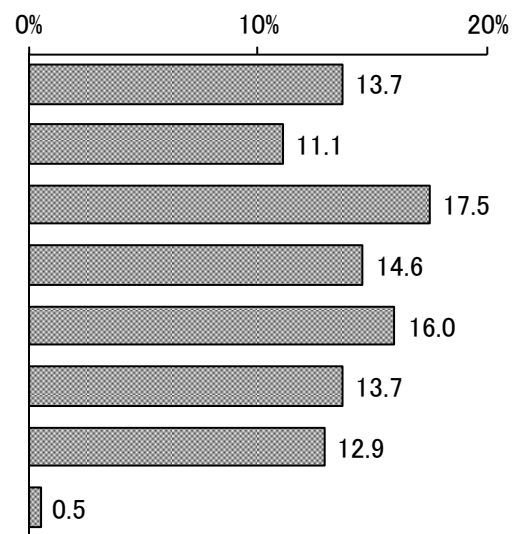
	基数(人)	構成比(%)
1 未就学児	163	13.9
2 小学生・中学生・高校生	230	19.6
3 短大生・専門学校生・大学生・大学院生	120	10.2
4 75歳以上の方	119	10.2
5 上記に当てはまるものはいない	622	53.1
全 体	1,172	-



2 第2回アンケートの回答者

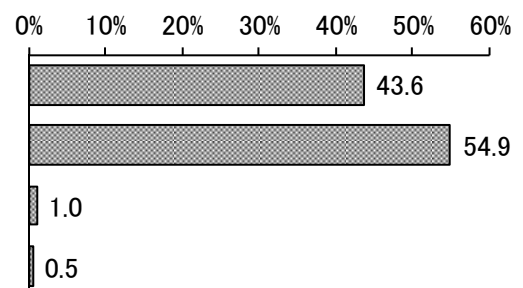
2.1 居住区

	基数(人)	構成比(%)
1 川崎区	226	13.7
2 幸区	184	11.1
3 中原区	289	17.5
4 高津区	241	14.6
5 宮前区	264	16.0
6 多摩区	226	13.7
7 麻生区	214	12.9
8 無回答	9	0.5
全 体	1,653	100.0



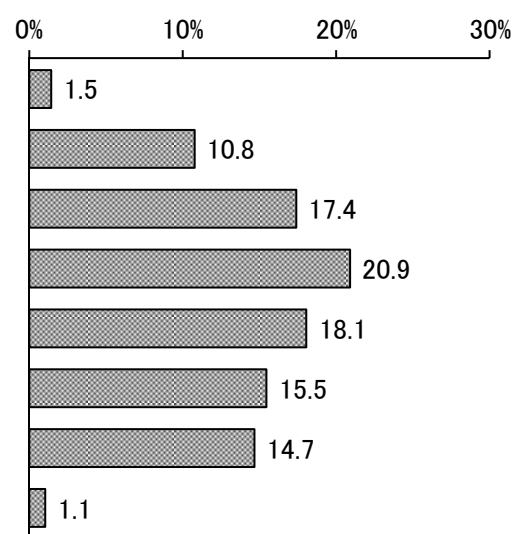
2.2 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	720	43.6
2 女性	908	54.9
3 選べない・答えたくない	16	1.0
4 無回答	9	0.5
全 体	1,653	100.0

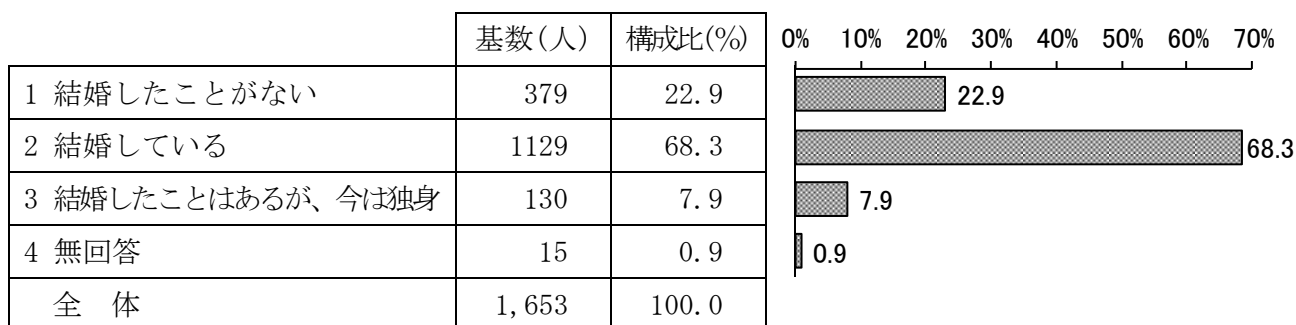


2.3 年齢

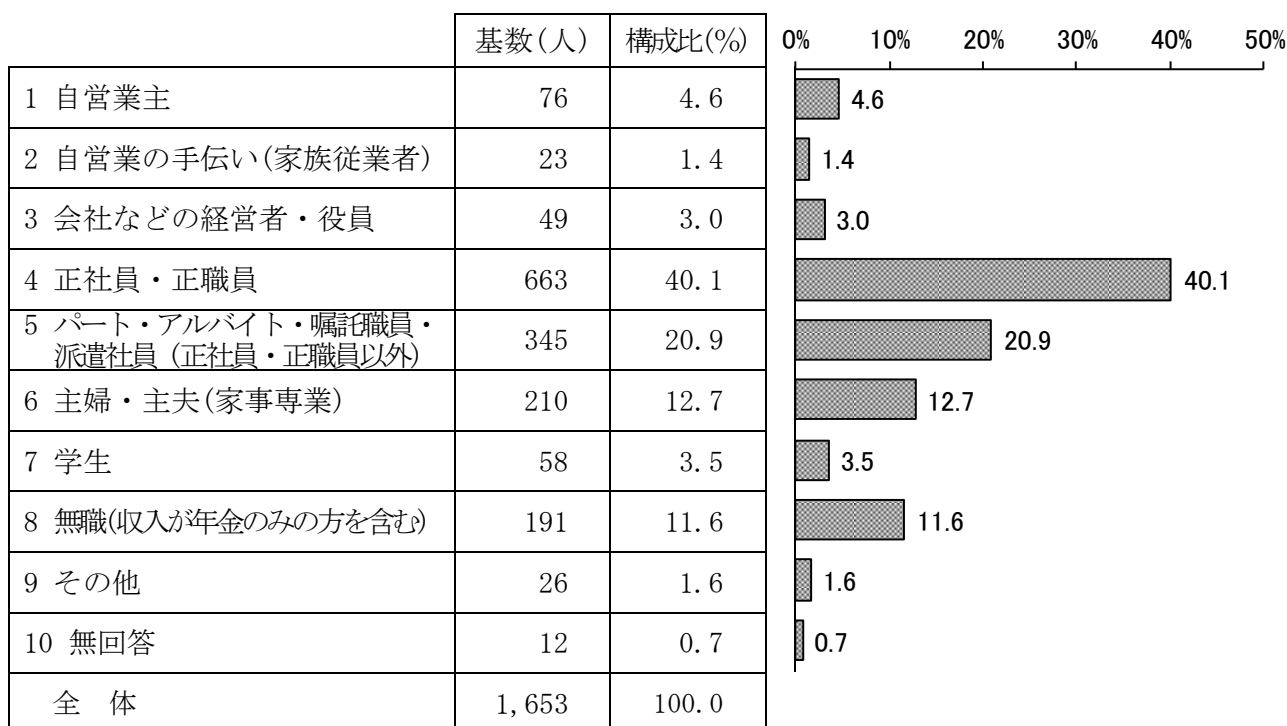
	基数(人)	構成比(%)
1 10歳代	24	1.5
2 20歳代	179	10.8
3 30歳代	287	17.4
4 40歳代	345	20.9
5 50歳代	299	18.1
6 60歳代	257	15.5
7 70歳以上	243	14.7
8 無回答	19	1.1
全 体	1,653	100.0



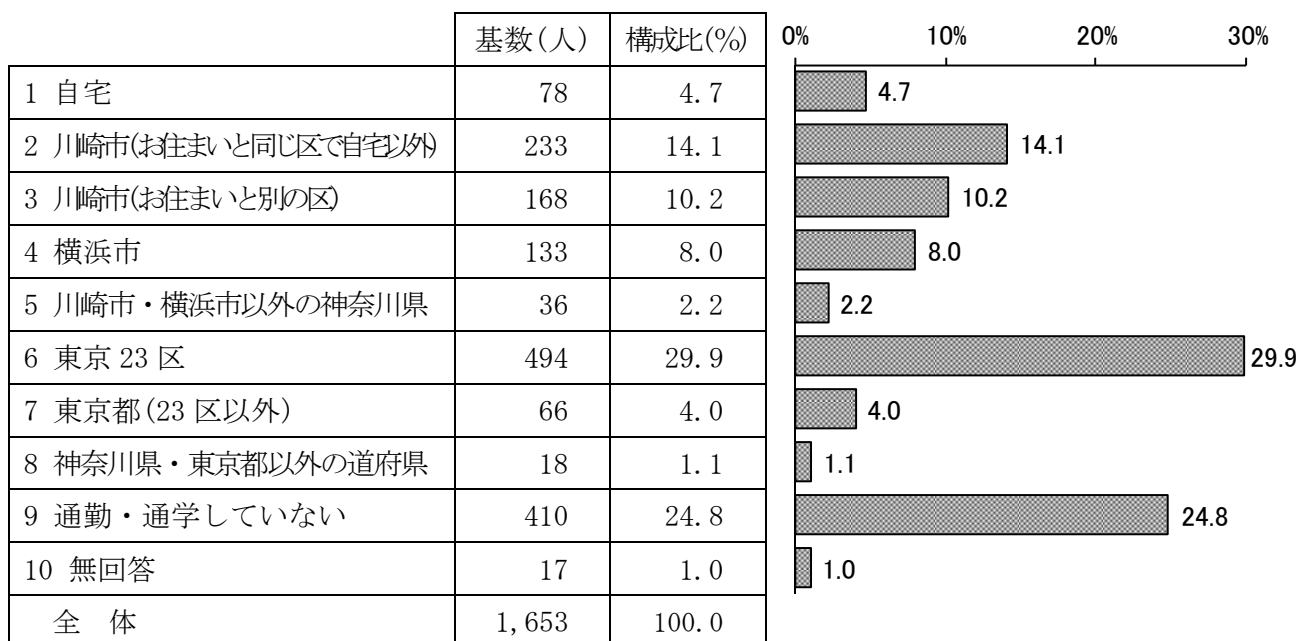
2.4 婚姻



2.5 職業

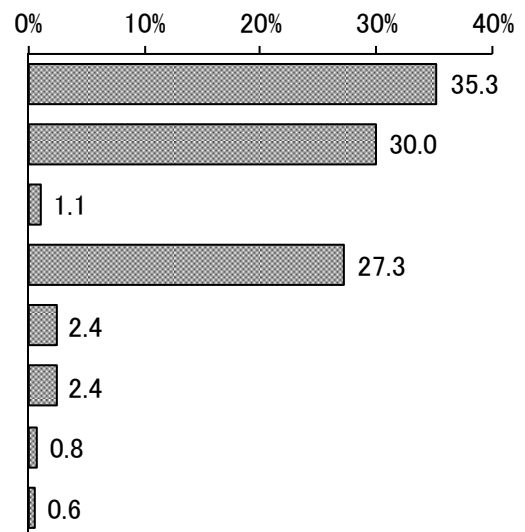


2.6 通勤・通学先の地域



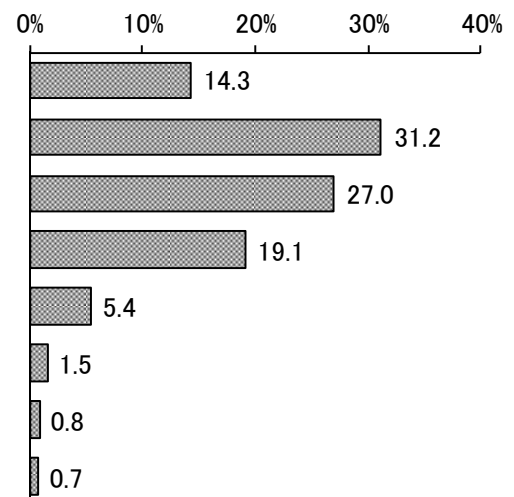
2.7 住居形態

	基数(人)	構成比(%)
1 持ち家(一戸建)	583	35.3
2 持ち家(マンションなどの集合住宅)	496	30.0
3 賃貸住宅(一戸建)	19	1.1
4 賃貸住宅(マンション・アパートなどの一般的な民間の集合住宅)	452	27.3
5 市営住宅や県営住宅などの公営住宅	40	2.4
6 社宅・寮・公務員住宅	40	2.4
7 その他	13	0.8
8 無回答	10	0.6
全 体	1,653	100.0



2.8 同居人数

	基数(人)	構成比(%)
1 1人	236	14.3
2 2人	515	31.2
3 3人	446	27.0
4 4人	316	19.1
5 5人	90	5.4
6 6人	25	1.5
7 7人以上	13	0.8
8 無回答	12	0.7
全 体	1,653	100.0



2.9 同居状況(複数回答)

	基数(人)	構成比(%)
1 未就学児	201	14.3
2 小学生・中学生・高校生	329	23.4
3 短大生・専門学校生・大学生・大学院生	117	8.3
4 75歳以上の方	170	12.1
5 上記に当てはまるものはない	652	46.4
6 無回答	54	3.8
全 体	1,405	-

